

加工技術ニュース

今月のコラム

こんにちは今月の担当を務めます製造部門の福岡です。現在、マシニングセンターをメインに取り扱っています。ご存知かと思いますが、当社は、工作機械周りのメインの加工を行っており、高精度品の単品・小ロット加工から中量製品の加工までに対応しています。日々、いろいろな仕事をする事ができ、やりがいを感じています！

今回は、私自身の自己紹介も兼ねて、私生活の話を少ししたいと思います。実は、昨年結婚式を挙げました！出会は、婚活パーティー。最近では婚活サイトなどネットでのつながりもあるようですが、リアルに会えないと信用できないなと思い、一昨年に参加し奥さんと出会いました。新婚生活は本当に楽しく、結婚をするとうちも変わるのかというほど、仕事も私生活も充実したものとなっています。

技能者としてはまだまだですが、新婚パワーでがんばります！！ それでは今月の技術ニュースをご覧ください。



製造部 福岡

高い切削加工・研削加工技術を活かした部品製造と生産性向上の取り組みを紹介します。

木村製作所では研削加工を得意とし、丸物部品を数多く取り扱ってきました。最近では、ジグ研や複合加工機の導入により、品質向上・生産性向上にも取り組んでいます。こちらでは過去の加工実績から、機械設計を行う上で重要となる最新の材料情報や、設計者の方々が知っておくべき効率的な加工情報の提供を行っています。今回、ご紹介するのは下記、2つです。

1つ目の製品は、当社の切削加工技術を活かし、高精度品を研削レス化で実現！リードタイム大幅削減事例！

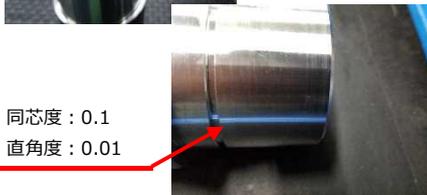
2つ目の製品は新たなNC円筒研作盤の導入で、当社の自動化・標準化を進めていきます！

ぜひ、ご参考にしていただければと思います。

当社の切削加工技術を活かし、高精度品を研削レス化で実現！リードタイム大幅削減事例！



同心度：0.01
直角度：0.01



同心度：0.1
直角度：0.01

円筒形状・高精度幾何公差品を研削レス化

木村製作所では、研削加工のノウハウを活かし、工作機械で使用するスピンドル部品など、面粗度・同心度・真円度を重視する回転部品の加工を得意としています。これまでは、研削加工に関するノウハウ・加工機本体の特性を理解した職人が、汎用研削盤を用いて製品の提供を行ってきました。

しかし、最近では加工技術の発達により、ある一定の精度や形状の製品であれば、研削レス化の提案が可能となっており、お客様にはリードタイム削減提案が可能となっています。そこで、こちらでは最近当社で行った研削レス事例について紹介をいたします。

左の2枚の写真が最近、提案をした研削レス化の事例で、共通点としては“円筒形状”で、真円度・同心度・直角度などの幾何公差に対して“**0.01程度**”の精度が求められているという点です。当社では、このような円筒形状品を複合旋盤による研削レス加工へと置換え提案をしています。加工機の本体の性能はもちろん、加工技術者のノウハウも活かすことで初めて提案ができるものといえます。効果としては研削レス化により、リードタイム2/3削減が可能となっています。一見、研削加工が必要な精度で加工先にお困りの品がありましたら、当社に問い合わせください。リードタイム削減提案を致します。

新たなNC円筒研作盤の導入で、当社の自動化・標準化を進めていきます！



当社の研削部門(汎用機が多くあります。)

本技術ニュースでは、これまで自動化・標準化の取り組みとして、複合加工機の導入などについてご紹介してきました。実は、今までご紹介していませんでしたが、当社の切削部門の自動化が進む一方で、研削部門が自動化が進んでいなかったという実態がありました。そこで今回、汎用機がほとんどでNC機は1台という現状を打破するべく、新たな加工機の導入を行いました。

今回、導入を行った加工機はJ-T E K Tの円筒研削盤です。既存の設備と同等の精度を加工することができ、導入をすることで1台のNC機に頼っていた生産を改善することができます。今後は、本加工機を用いて、自動化を進めながら、より高い生産性を実現できると期待しています。

もちろん、汎用機でしか対応できない部分はあると思いますので、若手は汎用機を触り、加工を覚えるように教育をしていますが、生産性は製造業にとって避けては通れないテーマですので、社内で進めていき、短い時間で高い付加価値を提供していきます！

先日、オートモーティブワールド2018に出展を致しました。

木村製作所では、先日、オートモーティブワールド2018に、国内でも高い技術力を持つ同業の企業と共同出展を致しました。例年、同時開催されているインターネコンなどにも出展を行っていましたが、今回は次世代自動車がテーマということで、オートモーティブに参加を致しました。例年のインターネコンと比較すると、外国の方が非常に多く、中国・韓国の方々がセミナー発表をされており、かなり雰囲気の違いを感じました。多くのブースで自動運転に向けたソフトウェアの話が出ているなど、自動車のサプライチェーンの変化を感じる面白い展示会でした。



共同出展ブース

加工技術ニュース

発行：株式会社 木村製作所
URL：http://kimurass.jp/

エンジニアのための加工技術サイト

加工コストダウン.com http://kakou-costdown.com/
チタン加工.com http://titanium-kakou.com/
e-部品加工.com http://e-buhinkakou.com/
難削材加工コストダウン.com http://nansakuzaikakou-costdown.com/
リバースエンジニアリング工場.com http://kimurass.jp/reverse-engineering-factory/

- 本社工場
〒617-0828 京都府長岡京市馬場人塚1-2
TEL 075-953-2721 FAX 075-951-2267
Mail: web@kimurass.jp
- ナノ加工研究所 (京大桂ベンチャープラザ)
- 中国北京事務所